

【用語説明】

アルファベット順

ACP (Advance Care Planning)	終末期において起こりうる病状の変化に備えて、医療従事者や患者と家族とともに、患者の医療上の希望、生命維持治療に対する意向、医療に関する代理意思決定者の選定などを行うプロセスのこと。厚生労働省による愛称は「人生会議」
AST (Antimicrobial Stewardship Team)	感染症への治療効果を高め、耐性菌の出現を抑えるために、抗菌薬の適正使用に向けて支援するチームのこと
BCP (Business Continuity Planning)	企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のこと
CAPS (Child Abuse Prevention System)	児童虐待に対応する院内の複数の部門が、各々の視点から、児童虐待かどうか、通告等をすべきかどうかなどについて判断し、病院として通告や警察への連絡などを行う組織のこと
DMAT (Disaster Medical Assistance Team)	大規模災害や事故などの現場で急性期（概ね48時間以内）に活動できる機動性を持ったチームのこと。専門的な訓練を受けた医師、看護師、業務調整員（医師、看護師以外の医療職及び事務職員）などで構成される。
ICT (Infection Control Team)	院内で起こる様々な感染症から患者、家族、職員の安全を守るために活動を行うチームのこと
ICT（地域連携ICT） (Information and Communication Technology: 情報通信技術)	通信技術を活用したコミュニケーションを指し、情報処理だけでなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称のこと
PDCA サイクル (Plan Do Check Action)	Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善させること
PSC (Primary Stroke Center: 一次脳卒中センター)	脳梗塞に対する血栓溶解療法（rt-PA 静注療法）が24時間365日対応可能な施設のこと

QOL (Quality of Life)	生活の質のこと
SCU (Stroke Care Unit:脳卒中ケアユニット)	脳卒中（脑梗塞、脳出血、くも膜下出血）急性期の患者を、専門医療スタッフがチームを組んで計画的に診療を行う治療室のこと
t-PA (tissue-Plasminogen Activator)	血管を詰まらせている血栓（血の固まり）を溶かし、血流を再開することで脳の働きを取り戻すようにする血栓溶解療法のこと

あいうえお順

アクシデント	医療事故のこと。医療に関わる場所で、医療の全過程において発生するすべての人身事故で、医療従事者の過誤、過失の有無を問わない。死亡、生命の危険、病状の悪化等の身体的被害及び苦痛、不安等の精神的被害が生じた場合、患者が廊下で転倒するなど、医療行為とは直接関係しない場合、患者だけでなく、注射針の誤刺のように、医療従事者に被害が生じた場合を含む。
アドヒアランス	患者が積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に従って治療を受けること
遺伝カウンセラー	遺伝医療を必要としている患者や家族に適切な遺伝情報や社会の支援体勢等を含む様々な情報提供を行い、心理的、社会的サポートを通して当事者の自律的な意思決定を支援する保健医療・専門職のこと。
医療連携登録医	患者の病状にあった継続性のある医療を切れ目なく行うため、医療連携している地域の医療機関の医師（かかりつけ医）のこと
インシデント	医療事故に至る前に気付いたこと。患者に障害の発生しなかった事例のみならず障害の発生した事例、過失の見られるものや不可抗力、また、結果だけでなくプロセスの問題も含まれる。
院内助産	病院や診療所において、保健師助産師看護師法で定められている業務範囲に則って、妊婦健康診査、分娩介助並びに保健指導（健康相談・教育）を助産師が主体的に行う看護・助産提供体制としての「助産外来」や「院内助産」を持ち、助産師を活用する仕組みのこと
インフォームドコンセント	治療や臨床試験・治験の内容についてよく説明を受け十分理解した上で、対象者が自らの自由意志に基づいて医療従事者と方針において合意すること

開放型病床	診療所から紹介された入院患者を、病院の医師と診療所の医師と一緒に診察を行うことのできる病床のこと
冠動脈インターベンション	冠動脈狭窄性病変に対してカテーテルを用いて拡張を行う治療のこと
緩和ケア	生命を脅かす疾患による問題に直面する患者とその家族に対して、痛みやその他の身体的、心理的、社会的な問題、さらにスピリチュアル（宗教的、哲学的なところや精神、靈魂、魂）な問題を早期に発見し、的確な評価と処置を行うことによって、苦痛を予防したり和らげたりすることで、QOL（人生の質、生活の質）を改善する行為のこと
救急ワークステーション	医療機関と消防機関が連携し、救急要請に対して救急隊員とともに、必要に応じ医師が同乗して現場に出場するなどの方法により、病院内での救急隊員の知識、技術の向上を目的とした教育の拠点のこと
急性期医療	急性疾患または重症患者の治療を24時間体制で行う病院のこと
救命救急センター	救急指定病院のうち急性心筋梗塞、脳卒中、心肺停止、多発外傷、重傷頭部外傷など、複数診療科領域の命に係わる重症な患者に対し高度な医療技術を提供する救急医療機関のこと
クリニカルパス（院内）	医師、看護師、その他医療スタッフが、共同して実践する治療、検査、看護、処置、指導などの標準的な治療行動計画の流れを示すもの
ゲノム	遺伝情報の全体・総体のこと
健康寿命	介護や人の助けを借りずに起床、衣類の着脱、食事、入浴など普段の生活の動作が1人ででき、健康的な日常を送ることができる期間のこと
厚生労働省充実段階評価	厚生労働省が前年の一年間の実績を各施設からの報告のもと点数化し、充実段階S・A・B・Cとして4段階に区分し、評価するもの
後発医薬品	新薬の独占的販売期間（有効性、安全性を検証する再審査期間及び特許期間）が終了した後に発売され、新薬と同じ有効成分で効能、効果、用法、用量が同一であり、新薬に比べて低価格な医薬品のこと。ジェネリックという。
後方支援病院 コンサルテーション	急性期治療を終えた患者が転院し、回復期治療などを提供する病院のこと 専門家の診断や鑑定を受けること
災害拠点病院	大規模災害における医療確保を目的として、重症、重篤な傷病者を受け入れるなど、災害時の医療救護活動において中心的な役割を担う病院のこと。厚生労働省の基準で、原則として二次医療圏ごとに1カ所指定される。救命医療を行うための高度診療機能、被災地からの重症傷病者の受け入れ機能、医療救護班の派遣機能などが求められる。
堺市医療圏がん診療ネットワーク協議会	大阪府がん対策推進条例の促進に向け、堺市二次医療圏における地域がん診療連携拠点病院（大阪労災病院、堺市立総合医療センター）及び大阪府

	がん診療拠点病院（近畿中央呼吸器センター、ベルランド総合病院、耳原総合病院）、相互の連携体制の整備促進を図るため設置したもの
堺市こども急病診療センター	堺市救急医療事業団が運営する夜間・休日の急な子どもの内科系疾患に対して外来診療を行う診療施設のこと
サンキューレター	お礼の手紙のこと
三師会	医師会、歯科医師会、薬剤師会のこと
三次救急医療機関	二次救急医療まででは対応できない重篤な疾患や多発外傷に対応する医療機関のこと
集学的治療（がん）	がんに対し、より高い治療効果を得るため、外科療法（手術）、化学療法（抗がん剤）、放射線療法、免疫療法等から二つ以上の治療方法を組み合わせて行う治療のこと
周産期医療	妊娠満 22 週から出生児満 7 日未満までを周産期といい、この時期は母子とも異常が発生しやすく、突発的な緊急事態に備えて、産科、小児科双方から一貫した総合的な医療体制が必要であることから、特に周産期医療と表現される。
周術期口腔ケア	手術を行う場合の口腔内のトラブル、誤嚥性肺炎、感染症の予防、化学療法や放射線治療を行う場合の口腔粘膜炎や口腔内感染等に対する口腔機能管理を実施すること
セカンドオピニオン	患者がより納得のいく治療を受けるため、診断結果や治療方針、方法等について、主治医以外の医師から意見を聞くこと
総合及び地域周産期母子医療センター	周産期母子医療センターとは、総合周産期母子医療センターと地域周産期母子医療センターの 2 つの機能のことをいい、総合周産期母子医療センターとは、母体・胎児集中治療管理室（M-FICU）を含む産科病棟及び新生児集中治療管理室（NICU）を備えた医療機関。常時、母体・新生児搬送受入体制を有し、母体の救命救急への対応、ハイリスク妊娠に対する医療、高度な新生児医療等を担っており、地域周産期母子医療センターとは、産科・小児科（新生児）を備え、周産期に係る比較的高度な医療行為を常時担う医療機関のこと
第一種、第二種感染症指定医療機関	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において定められた、一類感染症又は二類感染症の患者の入院を担当させる医療機関として都道府県知事が指定した病院のこと
タスクシフト	他者あるいは他職種に業務そのものを移管、委譲すること
地域医療支援病院	地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関の連携等を図る観点から、かかりつけ医等を支援する医療機関のこと。紹介患者に対する診療機能や実績等により都道府県が承認する。
地域完結型医療	地域の中で、それぞれの病院や診療所、クリニック等が、その特長を活か

	しながら役割を分担し、地域の医療機関全体で1つの病院のような機能を持ち、切れ目の無い医療を提供していこうというもの
地域がん診療連携拠点病院	専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の整備、患者・住民への相談支援や情報提供などの役割を担う病院として、国が定める指定要件を踏まえて都道府県知事が推薦したものについて、厚生労働大臣が適当と認め、指定した病院のこと
地域包括ケア	団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」が切れ目なく一体的に提供されること
地域連携クリニカルパス	ある疾患に罹患した患者を中心として、地域で医療・介護に関わる人々がそれぞれの役割分担を行い、お互いに情報共有をすることにより、今後の診療の目標や注意点を明確にし、チームで患者を支えてゆくための仕組みのこと
治験	治療試験の略。新薬の効果を確かめたり、既存の薬剤の効果と副作用の追跡調査をしたりするため、患者や健康な人に服用してもらい試す臨床試験のうち、特に製薬会社で開発中の医薬品や医療機器を患者や健康な人に使用してもらい、データを収集して有効性、副作用や安全性を確認する試験をいい、治験は国の基準を満たした医療機関で行われる。
チーム医療	医療技術の進歩と高度医療の普及、患者中心の医療に対するニーズの高まりなどを背景に、医師、薬剤師、看護師などの各医療職の協力によるチームで行う医療のこと
ドクターカー	種々の薬剤や器具を装備し、医師及び看護師が同乗して患者を搬送できる救急車のこと。病院到着までに医師による適切な処置及び医療を行うことができ、救命率の向上が期待できる。
特定看護師	診療の補助として特定の医療行為を、医師の包括的指示（医師等があらかじめ作成した手順書）をもとにタイムリーに行うことができる看護師を指す。
特定健診	日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病の予防のために、40歳から74歳までの公的医療保険加入者を対象に、保健指導の対象となるかどうかを判断しメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者及び予備軍を減少させることを目的として実施される健康診査のこと
二次救急医療	入院や手術を要する症例に対する医療であり、いくつかの病院が当番日を決めて救急医療を行う病院群輪番制や、共同利用型病院方式がある。
フレックスタイム制	職員が日々の始業・終業時刻を自身で決定して働くことができる制度のこと
変形労働時間制	一定の期間内で労働時間を柔軟に調整する制度のこと

ポリファーマシー	「Poly (多くの)」 + 「Pharmacy (調剤)」の造語で、単に薬剤数が多いことではなく、薬剤が多いことにより、薬物有害事象につながる状態や飲み間違い、残薬の発生につながる問題のことで、不要な処方や過量重複投与など、あらゆる不適正処方も含む。
メディカルコントロール	傷病者を救急現場から医療機関へ搬送する間に救急救命士が実施する医行為に対して、医師の指示または指導・助言および検証することにより、それらの医行為の質を保証すること
免疫療法	免疫の体の中に侵入した異物を排除するための能力を高めて行う治療のこと
薬剤管理指導	患者の薬歴管理と服薬指導を介して患者の薬物療法への認識を向上させ、また患者から得られた情報を医師等にフィードバックすることにより薬物療法を支援すること
薬剤師退院時サマリー	退院後の薬学的ケアを地域で継続するための情報連携ツールのこと
ラウンド	病棟や病室内の見回りのこと
リエゾン	一般病棟におけるせん妄や抑うつといった精神科医療のニーズの高まりを踏まえ、一般病棟に入院する患者の精神状態を把握し、精神科専門医療が必要な患者を早期に発見し、可能な限り早期に精神科専門医療を提供すること
リスクマネジメント	リスク（危険の生じる可能性）を組織的に管理し、損失などの回避または低減をはかるプロセスのこと
臨床倫理コンサルテーションチーム	医療従事者が直面する臨床倫理上の問題に対し、迅速に検討し、助言や推奨を行う多職種で構成されたチームのこと